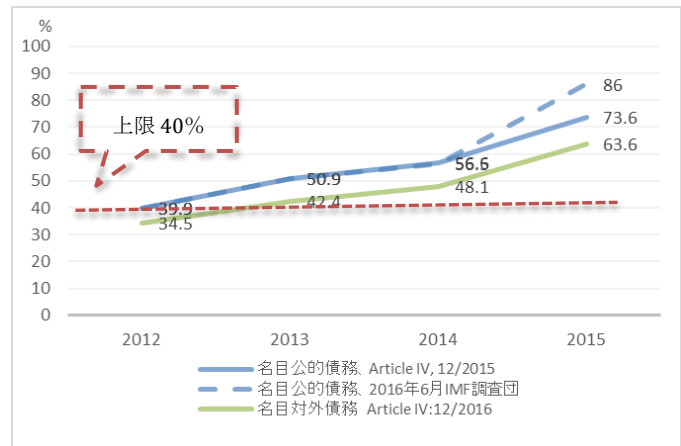


## モザンビークの債務問題（1）：概要

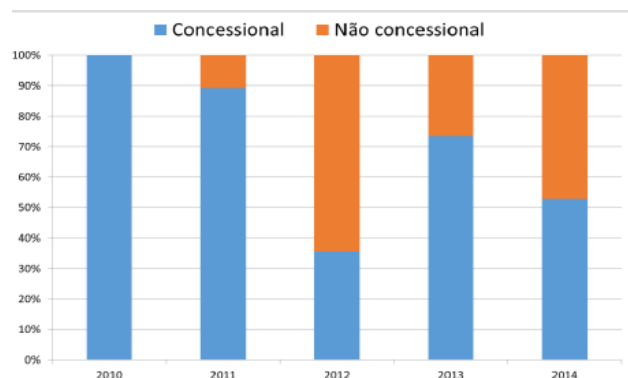
### 1. 債務問題の概要

モザンビークでは、マクロ経済の安定と債務持続性を保持するため、2013年からIMFの財政支援プログラム（Policy Support Instrument）を導入しているが、直近の過去5年間で公的債務、特に対外債務、が急増している。IMFプログラムでは、GDP比40%を対外債務の上限として設定しているが、2013年には名目対外債務のGDP比は40%を超えて50.9%となり、2015年12月<sup>1</sup>には、GDP比63.6%に急増した。対外債務の現在価値（Present value）は、2014年の29.8%から次年には39.9%に急上昇し、かろうじて上限内で推移していた。同時期は、対外債務の急増のみでなく、対外債務の内訳も変化し、対外債務における譲許的借款の割合が大きく減少する一方、非譲許的借款の割合が大幅に増加した（図2<sup>2</sup>）。特に、2012年は、マプト-カテンベ橋事業及びマプト市環状道路事業に中国からの非譲許的借款が供与されたため、対外債務における非譲許的借款の割合が



出典：IMF Article IV consultation, December 2015

図1：公的債務の推移（2012～2015、GDP比）



出典：経済財務省、Declaração de Risco Fiscais, 2015

図2：対外債務の内訳（2010～2014年）

表1：モザンビークの非譲許的借款の内訳（2013～2014年）

事業名	貸付国/貸付銀行	借款調印日	借款額 (百万ドル)
ナカラ国際空港	ブラジル	2013年7月	144
Moamba Major ダム	ブラジル	2014年7月	320
マプト-カテンベ橋	中国	2012年1月	750
レサーノガルシア・ガス火力	フランス	2014年5月	52
マプト市環状道路（Maputo Ring Road）	中国	2012年1月	300
ベイラ港積荷ターミナル	インド	2013年12月	31
EMATUM	Credit Suisse (スイス) & VTB Capital Bank (露)	2013年5月	850
ProIndicus	Credit Suisse & VTB	2013年5月	622
Mozambique Asset Management (MAM)	VTB	2013年5月	535

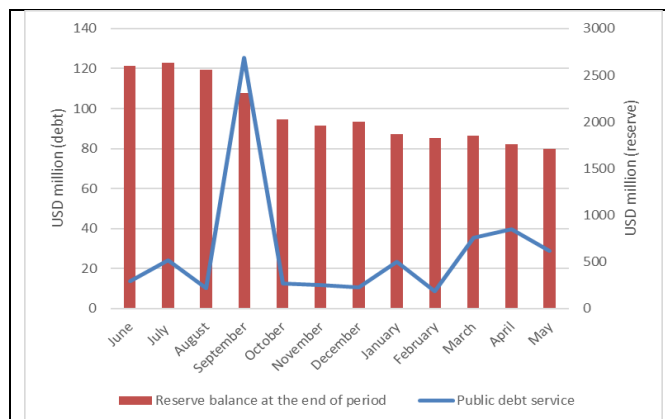
出典：Fórum de Monitoria de Orçamento、新聞報道等。

<sup>1</sup> “Article IV” consultation, Fifth review under the Policy Support Instrument, IMF, December 2015

<sup>2</sup> Proindicus, MAMの債務は、公表されていなかったため、図2に含まれていない。

60%以上となった<sup>3</sup>。

2013年には、国営企業 EMATUM への 850 百万ドルのユーロ債（政府保証付、当初金利 6.3%、マグロ漁業船舶と沿岸警備への貸付）が発行され、そのうちの 500 百万ドルが国家一般会計内に組み込まれたため、経済財務省が返済を担う公的債務となった<sup>4</sup>。EMATUM 借款は、マグロ船と軍艦の購入等に約 370 百万ドル支払われたと報道されているが、通常の船舶価格よりも高額で購入されたことと用途不明金が指摘



出典：モザンビーク銀行

図3 外貨準備高（赤棒）と債務支払額（青線）  
（2015年6月～2016年5月）

されている。2015年9月には EMATUM ユーロ債の初回返済（103.5 百万ドル）が支払われたが、政府の外貨準備高は大幅に下降し、財政状況が悪化した（図3）。2015年6月から2016年5月の1年間の間に外貨準備高は886 百万ドルの減少となり、2016年5月期末の外貨準備高は1,714 百万ドルに下降している。2015年12月のIMF調査団との協議の結果、かろうじて財政支援（Standby Credit Facility, 282.9 百万ドル）は承認されたものの、赤信号に近い厳しい財政状況であったといえる。

こうした中、2016年3月の第2回 EMATUM ユーロ債返済前に債務の再編が行われた。返済期限は2023年までに延長されたため、第2回返済は避けられたが、金利は変動金利 10.75%に変更された。信用格付け会社は、EMATUM の債務再編を債務不履行と同じであると評価しており、モザンビークの格付けは大幅に下降した。2016年6月末現在のモザンビークの格付けは、Standard & Poor's が「CCC」と評価している。

2016年4月3日付けの Wall Street Journal 紙では、EMATUM ユーロ債の他、ProIndicus 社による 6.22 億ドルの債務への政府保証が暴露された。ProIndicus 社は、2012年に設立され、防衛省傘下の GIPS と Monte Binga が各 50%の株を所有する国営企業である。国家情報治安局（SISE）が GIPS の 70%を所有する一方、ホールディング会社の国家参加管理研究所（IGEPE）が Monte Binga の 100%の株を所有している。借款内容は、沿岸警備、レーダー装備、天然ガス事業の警備等と報道されているが、現在まで貸付実行額も含めて用途不明と言われている。本借款の暴露により、国際社会からの信用を大きく損なうことになり、IMF は4月に予定されていた調査団をキャンセルして財政支援を停止した。さらに同年4月、Mozambique Asset Management (MAM) 社の債務への政

<sup>3</sup> 中国からの非譲許的借款についても、市民社会から批判がある。マプト-カテンベ橋については、建設コストがより安い橋梁建設の可能性があるにもかかわらず、桁高 60m の建設コストが高い橋梁計画が選定されたこと、事業コストが高いにもかかわらず非譲許的借款で実施されるため、政府の債務返済負担が大きくなったことが指摘される。マプト環状道路は、道路の建設単価が 5 百万ドル/km と非常に高く、一般競争入札ではなく、随意契約で中国の業者（China Road and Bridge Corporation）が選定されたことが批判されている。同じ中国の建設会社が、別の道路建設の一般競争入札においては、半額以下の 2 百万ドル/km で応札していると報道されている。

<sup>4</sup> 借款契約当時は、500 百万ドルが EMATUM の債務、350 百万ドルが公的債務として区分されていたが、調査の結果、350 百万ドルは EMATUM の借款、500 百万ドルは政府借款として国家一般会計（Contas Gerais do Estado）に編成された。

府保証という第2の隠し債務（535百万ドル）が発覚された。MAMは、SISE傘下のGIPSが98%を所有する国営企業であり、船舶修理と維持管理に借款が供与されたと言われているが、同じく用途が不明と言われている。MAMの債務の前払い手数料として、VTB銀行に35百万ドルが支払われていたことも発覚した。これら隠し債務が発覚されたことを受けて、欧州諸国からなるGroup 14（G14）は財政支援を停止した。

国内では、野党が国会で債務問題を審議することを提案したが、議長は当初これを拒否した。しかしながら、政府の説明責任を求める声が高まる中、与党も臨時本会議を開催することで合意し、6月8～9日に臨時本会議が開催された（続）。

表2：懸案の対外債務3件の概要

項目	EMATUM	ProIndicus	MAM
借款契約年	2013	2014	2014
借款額（百万ドル）	850	622	535
貸付銀行	Credit Suisse & VTB	Credit Suisse & VTB	VTB
株主	IGEPE（34%）、EMOPESCA（33%）、GIPS（33%）	GIPS（50%）、Monte Binga（50%）	GIPS（98%）、EMATUM（1%）、ProIndicus（1%）
借款内容	マグロ漁船と軍艦の購入、沿岸警備？	沿岸警備、レーダー装備、天然ガス事業の警備？	造船所の建設、船舶修理及び維持管理？
財・サービスの貸付実績（百万ドル）	370？	？ （本事業のサービス提供契約は、締結されていないと大臣の説明あり）	？
金利	10.75%	LIBOR + 3.75%	LIBOR + 7.739%
返済期間	10年（再編後）	5年	4年
支払い状況	2015年9月第1回返済済（103.5百万ドル）、2016年3月に債務再編	2016年3月に24百万ドルの返済、2017年3月から年間119百万ドルの返済予定	2016年5月の返済（178百万ドル）は不履行、債務再編を交渉中

出典：経済財務省、Centro de Integridade Publica